

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
第36回（平成29年度第2回）理事会議事録

日 時：平成29年7月21日（金） 13：00～17：00

場 所：AP品川 10F F+G ルーム

東京都港区高輪 3-25-23 京急第2ビル 10F

出席者：檜山英三（理事長・第61回学術集会会長）

堀部敬三（副理事長）

足立壯一、天野功二、井上雅美、今泉益栄、大植孝治、大賀正一、小野 滋、上條岳彦、
上別府圭子、菊田 敦、木下義晶、副島俊典、田尻達郎、西川 亮、堀 浩樹

（以上理事）

仁尾正記（監事）

石井榮一（第59回学術集会会長）

細井 創（第60回学術集会会長）

欠席者：田中祐吉、真部 淳（以上理事）

小林正夫（監事）

議 長：檜山理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は19名中17名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回理事会議事録（案）の確認

議長より、前回議事録（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者承認の件

堀部庶務・財務副委員長より、資料をもとに、正会員62名の入会申請者が示され、議場にて確認がなされ、2名について所属領域を修正することとし、入会については全員異議なく承認された。

2. 小児血液・がんみなし指導医認定の件

井上専門医制度委員長より、小児血液・がんみなし指導医への新規認定申請者1名に関して、専門医制度委員会にて提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

3. 小児がん認定外科医新規認定の件

井上専門医制度委員長より、小児がん認定外科医への新規認定申請者14名に関して、専門医制度委員会にて提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

4. 研修施設新規認定の件

井上専門医制度委員長より、研修施設への新規認定申請施設 2 件に関して、専門医制度委員会にて提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

5. 研修集会新規認定の件

井上専門医制度委員長より、研修集会への新規認定申請集会 4 件に関して、専門医制度委員会にて提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

6. CANCER e-LEARNING について

大植教育・研修委員長より、日本癌治療学会の作成した e-ラーニングプログラム「CANCER e-LEARNING」を本会で利用することについて、教育・研修委員会にて討議し、利用した方がよいと判断した旨が報告された。議場にその利用について承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

井上専門医制度委員長より、「CANCER e-LEARNING」の講義を受講した際の本会研修単位について、専門医制度委員会にて討議し、1 講義 1 単位、1 回の申請（初回・更新）において 5 単位まで認定することが妥当と判断した旨が報告された。議場にその単位認定について承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

7. CLIC 研修会及び LCAS 研修会について

井上専門医制度委員長より、資料をもとに、CLIC 研修会及び LCAS 研修会を受講した際の本会研修単位について、専門医制度委員会にて討議し、いずれも 10 単位認定することが妥当と判断した旨が報告された。議場にその単位認定について承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、CLIC 研修会及び LCAS 研修会の受講を本会専門医制度の専門医資格認定条件に組み込むべきかについて、専門医制度委員会にて討議したところ、慎重に進めるべきと判断された旨が報告された。議場より、LCAS 研修会は未だ開始したばかりであるが、CLIC 研修会については、制度に組み込むことを前向きに検討すべきである、との意見があり、議場にて討議がなされ、以下の意見開陳がなされた。

- ・現在、専門医 205 名のうち 80 名が CLIC を受講している。専門医資格の認定条件に組み込むためには、未受講者 125 名が受講する期間が必要であり、5 年間の猶予は必要である。

- ・CLIC を PEACE と同じ位置づけにできるよう厚生労働省に働きかけてはどうか。

- ・制度に組み込むためには専門医制度規則を総会にて改正する必要がある。

討議の結果、CLIC 受講を 5 年後の専門医新規認定及び更新の必須要件に組み込むこととして、規則改正等準備を進めることとなった。

8. 「公益信託 日本白血病研究基金」助成：学会推薦者の件

西川学会賞等選考委員長より、「公益信託 日本白血病研究基金」の助成金に関する学会推薦者について、会員からの応募がなかった旨が報告された。議場に推薦者が求められたところ、理事にて検討し、後日、推薦者を選出することとなった。

9. 学会賞等選考委員会委員増の件

西川学会賞等選考委員長より、学術賞の審査にあたり委員数を増員することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

また、メンバーの選定について議場にて討議がなされ、以下の 7 名を学会賞選考ワーキンググループメンバー候補者として、推薦することとなった。

領域	氏名	所属
血液領域	犬飼 岳史	山梨大学 医学部 小児科
血液領域	滝 智彦	京都府立大学 分子診断
血液領域	今井 千速	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 小児科学分野
血液領域	照井 君典	弘前大学 大学院医学研究科 小児科学講座
固形癌領域	渡邊 健一郎	静岡県立こども病院 血液腫瘍科
固形癌領域	滝田 順子	東京大学 医学部附属病院 小児科
固形癌領域	大平 美紀	埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所

10. CLIC の開催について

大植教育・研修委員長より、今年度第 1 回 CLIC 開催について説明がなされた。

議場より、第 2 回の開催を検討すべきとの意見があり、第 2 回の開催について教育・研修委員会にて検討することとなった。

11. 先天性骨髄不全症診療ガイドライン 2017 パブリックコメント募集の件

小野診療ガイドライン委員長より、資料をもとに、先天性骨髄不全症診療ガイドライン 2017 について、学会 HP にてパブリックコメントを募集することが提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

12. The Korean Society of Pediatrics Annual Meeting への招待について

堀国際委員長より、The Korean Society of Pediatrics Annual Meeting へ本会研究者 2 名が招待されている旨が報告された。招待者について、嶋田博之先生（慶應義塾大学）及び富澤大輔先生（国立成育医療研究センター）が提案され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

13. 選挙日程に関する件

議長より、選挙日程（案）が示され、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳がなされた。

- ・ 3 月末までには全選挙を終了する日程で進めるべきである。
- ・ 5 月の理事会は新旧役員合同理事会とすべきである。

以上の意見を踏まえて、日程を再検討することとなった。

14. 理事選挙における得票数同数の場合について

議長より、理事選挙における得票数同数の候補者がいた場合の選定方法について、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳がなされた。

- ・ 日本小児血液学会では、得票数同数の場合、年齢の若いものが選定されていた。

・理事就任の年齢制限を考慮して年長者を優先すべきではないか。

議場にて、得票数同数の場合、年齢の高い者を選任するか低い者を選任するかについて、挙手による投票がなされたところ、年齢の高い者が選任されることとなった。

III. 報告事項

1. 庶務報告

堀部庶務・財務副委員長より、現在の会員状況について、資料をもとに報告がなされた。

2. 利益相反委員会報告

天野利益相反委員長より、利益相反に関する指針 Q&A (案) が示され、議場にて確認がなされた。

3. 学術集会プログラム委員会報告

田尻学術集会プログラム委員長より、学術集会発表者の倫理的問題への対応について、倫理審査の必要性がある演題の基準を学会として定めるべきではないか、との意見がなされ、倫理委員会にて検討し、学会ホームページでその基準を公開することとなった。

4. 学術・調査委員会報告

木下学術・調査副委員長より、データベース登録事業の進捗状況が報告された。学会間での連携及び登録内容について検討中である。

また、疾患登録の際に、学会として患者の同意を得るべきかについて、議場にて討議がなされたところ、学会として同意書を得ることとなった。

5. 疾患委員会報告

大賀止血・血栓委員長より、小児血友病診療ネットワークについて、不審なメールが届いたため、1ヶ月閉鎖し、安全を確認した後、再開したことが報告された。

6. 看護委員会

上別府看護委員長より、支持療法に関する調査を計画していることが報告された。研究審査委員会に確認の上、調査を開始する。

7. 教育・研修委員会報告

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、以下の報告がなされた。

- ・学術集会時の教育セッション及び各地区の教育セミナーを計画している。
- ・緩和ケア研修会（CLIC）は日本緩和医療学会と共催することが決定した。
- ・緩和ケア研修会（CLIC）の費用削減を検討している。

8. 保険診療委員会報告

今泉保険診療委員長より、ロイケリンの供給が不安定となる恐れがあるとの情報があったため、その場合は学会より要望書の提出を検討していることが報告された。

9. 国際委員会

堀国際委員長より、資料をもとに、アジア交流セッション 2017 の招聘者 4 名が報告された。

10. 長期フォローアップ・移行期医療委員会

檜山長期フォローアップ・移行期医療委員長より、資料をもとに、以下の報告がなされた。

- ・準備を進めており、リハーサルを計画している。
- ・参加希望者が募集人数を超えているため、次回以降の研修会に回っていただく等の対応により、人数調整を検討している。

11. ゲノム医療推進 WG

檜山ゲノム医療推進 WG 委員長より、資料をもとに、以下の報告がなされた。

- ・日本癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会の委員によって、クリニカルシーケンスに関するガイドンス策定作業が進められている。
- ・がんゲノム医療の拠点病院の選定基準が検討されている。
- ・学会としては積極的に協力していく予定である。

12. 第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会

石井会長より、資料をもとに、学術集会準備状況について以下の報告がなされた。

- ・現在一般演題の査読中である。
- ・収支予算上では、黒字となる予定である。
- ・Meet the Expert の出席者を公募予定である。
- ・アジア交流セッションの抄録締切は 8 月末を目途とする。
- ・PBC へは、8 月末日に抄録を提出する。提出形式は確認予定である。

13. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会

檜山次々期会長より、2019 年 11 月 14 日（木）～16 日（土）開催予定、会場は検討中であることが報告された。

14. 日本医学会の新執行部について

議長より、資料をもとに、日本医学会の新執行部について報告がなされた。

15. 小児思春期、若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017 への意見募集状況報告

議長より、資料をもとに、標記事項について報告がなされた。

16. 来年の定時社員総会について

議長より、来年の定時社員総会概要について、議場に意見が求められ、以下の開催概要が確認された。

- ・2018 年 6 月 17 日（日）開催予定。
- ・午前中に社員総会を開催し、午後に教育セミナーの開催を予定。
- ・会場は現在検討中。

・次年度以降、翌々年度まで日程を決定しておくべきであることが確認された。

17. 「ゴールドリボン Joy & Walk 2017 in 大阪」後援について

議長より、資料をもとに、標記事項について議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

18. 次回理事会について

議長より、次回理事会は10月8日（日）13時から17時開催であることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。